

サステナビリティ経営の推進

●サステナビリティ基本方針

九電グループは従来から、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九電グループの思い」のもと、持続可能な社会の実現に向けた様々な取組みを推進しています。

2021年12月には、事業を通じて「社会価値」と「経済価値」の双方を創出し、サステナブルな社会への貢献と九電グループの企業価値向上を目指すという姿勢を、より一層明確化するという観点から、「九電グループサステナビリティ基本方針」を制定しました。

本方針の下、事業を通じて、地域・社会課題の解決に貢献することで、「九電グループの思い」を実現し、地域・社会とともに発展してまいります。

九電グループサステナビリティ基本方針 (2021年12月制定)

九州から未来を創る企業グループとして、事業を通じて「社会価値」と「経済価値」の双方を創出し、サステナブルな社会への貢献と九電グループの企業価値の向上を実現していきます。

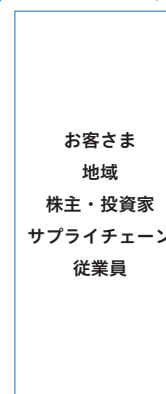
- ・エネルギーを通じて人々の暮らし・経済を支えるという不変の使命のもと、事業を通じて地域とともに社会の課題解決に取り組めます。
- ・ステークホルダーとの責任ある対話を通じ、強固な信頼関係を築きます。
- ・グローバルな社会的課題の解決に挑戦し、SDGsの達成に貢献します。

●推進体制

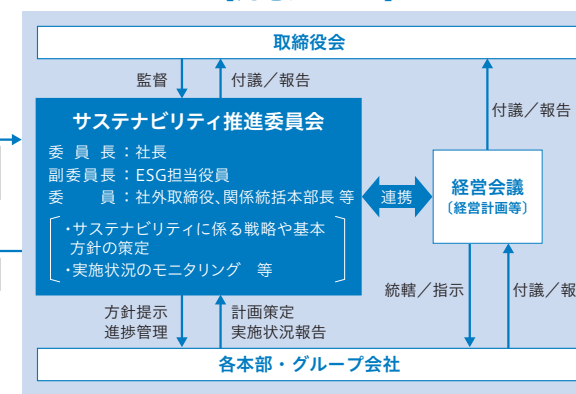
気候変動をはじめとする地球規模での社会課題が深刻化する中、九電グループは、責任あるエネルギー事業者として、こうした課題解決に積極的に貢献していくことが極めて重要であると考え、2021年4月に「九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050」を策定しました。また、その確実な実現をはじめ、ESG(環境・社会・ガバナンス)課題全般への取組みを強化するため、同年7月に「サステナビリティ推進委員会」を設置するなど、サステナビリティ経営に係るマネジメント体制を整備しました。

本体制のもと、事業活動を通じた地域やグローバルな社会課題解決への取組みを更に加速し、持続可能な社会への貢献と九電グループの中長期的な成長を実現してまいります。

【ステークホルダー】



【九電グループ】

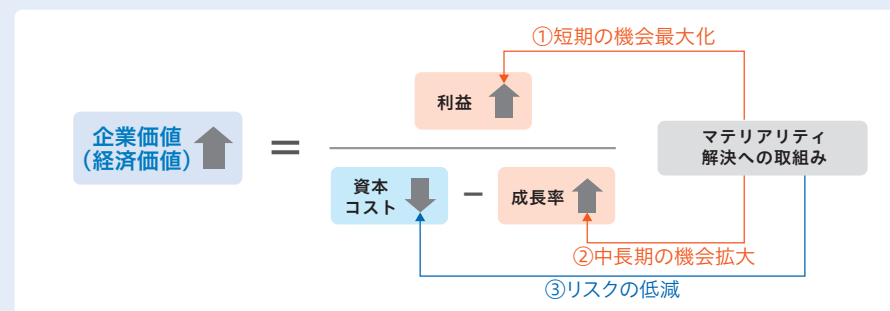


サステナビリティ経営を通じた企業価値向上モデル

持続的に企業価値(経済価値)を高めていくためには「短期」のみならず、「中長期」の社会情勢や経営環境の変化を見据えたうえで、今後の成長の障壁となりうる経営上の重要課題(マテリアリティ)を特定し、それらに焦点をあてた取組みを強化することが極めて重要です。

そのため、九電グループは、企業価値(経済価値)につながる要素を以下の3つに分解し、それぞれの視点からマテリアリティ解決に向けた取組みを推進しています。

- ①短期の機会最大化(利益の向上)
- ②中長期の機会拡大(成長率(将来の成長期待)の向上)
- ③リスクの低減(資本コストの低下)



●サステナビリティに係る理念等の体系

九電グループでは、グループ理念「九電グループの思い」及び「九電グループサステナビリティ基本方針」のもと、中長期的に目指す姿として「経営ビジョン2030」と「カーボンニュートラルビジョン2050」を定め、「社会価値」と「経済価値」の同時創出に向けた取組みを推進しています。

さらに、これらの実現に向けた経営上の重要課題(マテリアリティ)を特定し、その解決に向けた取組みを中期 ESG 推進計画(P42~43 P62)として具体的な行動計画に落とし込むことで、着実な実践を図ります。

